

姉妹都市親善訪問及びふるさと会交流レポート

平成29年10月14日、藤田議長を団長に親善訪問団6名で小平町を出発し「東京おびら会総会」、15日には「小平市民まつり」に参加させていただき、翌16日には小平市役所を表敬訪問し帰町しました。

東京おびら会総会は、上野動物園近くのレストランで開催され、年配の方が多かったのですが、小平町の道路・施設・産業など、小平町のことをとても気にかけて下さっていました。一番大きな課題は、会員の高齢化・新規会員の募集と話されていました。



14日…平成29年度東京おびら会総会及び親睦会



15日…第42回小平市民まつり【パレード】

小平市民まつりは、あいにくの雨の中での開催となり、例年より参加人数も少なく、中止となったイベントもあったようです。そんな悪天候の中でも、小平町の直売コーナーは盛況で、開催前から行列ができ完売となりました。

姉妹都市となって39年、姉妹都市少年少女文化交流事業も今年で39回目だそうです。今回の訪問団の西議員が第1回の交流事業に参加、また、私共を案内してくださった小平市職員も参加経験がある方でした。

この姉妹都市交流事業の歴史を想い、この事業が町民・市民がより交流を深める場として、継続していければと感じます。どちらも大変お世話になり、関係者の方々に感謝申し上げます。



16日…小平市役所を表敬訪問

あとがき

平成30年の新春を迎えられ、町民皆様には謹んでお喜び申し上げます。昨年

は町の主要産業の農業・漁業においては、農業関係で米が7年連続で豊作となり、道内産ゆめぴりかコンテスト2017で当町を中心とした管内産米が最高金賞を受賞するなど、米を主要作物とする本町にとって大変名譽なことがありました。

(板垣)

また、漁業関係ではホタテ・秋サケ漁が伸び、最高の漁獲高を記録しました。

今年「戌」年で、「戌」は「植物の成長が絶頂期にある」を意味しており、成長が絶頂期と勢いを収める年で、物事が両極端になる年になるそうです。平成も今年で30年となり、最後の年号となりました。

新しい年号を来年に迎えるにあたり、今年一年、町民の皆様が健康で明る

『あなたも議会を傍聴してみませんか』

●町議会の定例会は、年4回開きます。
(3・6・9・12月)

議会はどなたでも傍聴できますので
どうぞお気軽にお越しください。

- 発行 小平町議会
- 編集 議会広報発行特別委員会
- TEL (〇一六四) 五六二二一一
- 印刷 (株)プリコム旭川